

箱根駅伝総合優勝の青学が参加 全国レベルの長距離記録会を開催

3月23日、市陸上競技協会主催の長距離記録会が市陸上競技場で開催されました。記録会では男子3000[㍎]と1500[㍎]、女子1500[㍎]と800[㍎]の4種目が行われ、市内外の中高生など延べ約230人が参加。1月の箱根駅伝で2年連続8度目の総合優勝を果たした青山学院の選手も出場し、会場には多くの陸上ファンが駆け付けていました。



男子3000[㍎]では、つるかわまさや 鶴川正也選手（青山学院大学4年）が8分09秒45でトップ。全国トップレベルの走りに会場からは感嘆の声が上がりました

雨の日や日射しの強い日も遊べる のじりこびあの全天候型遊具が完成



なかむらけいのすけ まがたしゆん 中村圭之介さんと真方駿さんを 3代目観光アンバサダーに任命

3月22日、牧場演芸場で小林観光アンバサダーの選任式が行われました。任命されたのは、中村圭之介さんと真方駿さんの2人。選任式で中村さんは「小林市には面白い人やイベントがたくさんあるので、そうした情報を発信していきたい」、真方さんは「小林にもっと多くの人が訪れ、小林が盛り上がるように頑張りたい」と話しました。



アンバサダーの証となる法被に袖を通した中村さん（写真^㉔）と真方さん（写真^㉕）。2人は今後1年間、市の魅力を市内外に発信する役割を担います



のじりこびあの複合型遊具が新しくなり、雨の日でも遊ぶことができる全天候型遊具になりました。遊具は平成4年開業時から多くの子どもたちに親しまれてきたものをリニューアル。紙屋地区にゆかりのある県外在住の赤川春美さん^{あかがわはるみ}が寄付した300万円も活用されました。3月29日には、リニューアルオープン記念式典が開かれ、市内外から2000人を超える家族連れが来場。遊具のオープンを待ちわびた子どもたちは、テープカットと同時に遊具に向かって一斉に走り出し、歓声をあげながら新しい遊具を堪能していました。

市のチームとしては初の快挙！ eスポーツ大会2部門で九州2位

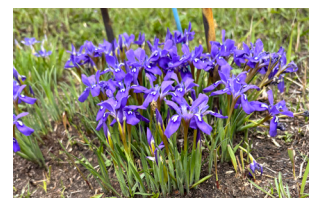


（写真^㉖）チーム「FTM」左から前田理稀さん、高木琉誠さん（写真^㉗）チーム「ハンター」左から田中陽光さん、徳永晶太さん、今屋桜介さん

3月19日と28日、市内の高校生でつくるeスポーツチーム「FTM」と「ハンター」の2チームが、九州最強を競う大会「第3回Q1スーパートーナメント」で上位入賞したことを市長へ報告しました。大会は3月9日にオンラインで開催。チームワークが勝負のカギとなる人気スマホゲーム「プロスタ」で競われました。九州にゆかりのある43チームが出場する中で、激闘を制し、「ハンター」がマスターカップ部門、「FTM」がエンジョイカップ部門でそれぞれ2位を獲得。市のチームとして初の受賞となりました。

自生地でエヒメアヤメまつりを開催

3月22日から4月6日まで、国指定の天然記念物「エヒメアヤメ南限自生地」（南西方）でエヒメアヤメまつり（エヒメアヤメを守り育てる会主催）が開催されました。自生地には県内外から多くの見物客が訪れ、青紫色に咲く花を写真に収めるなどして楽しみました。



事業収益を地域課題解決に活用 グリーンシティこばやし(株)が寄付

昨年12月、電気の小売り事業を行うグリーンシティこばやし株式会社（前田喜輝代表取締役）が市に510万円を寄付しました。同社には小林市も出資しており、得られた収益は地域の課題解決につながる事業などに充てられます。寄付金は使途を指定した指定寄付として寄付され、全額が「健康のまちづくり」の取り組みに充てられます。



3月19日には市役所で寄付贈呈式が開催され、前田代表は「今後も市へ継続的に還元できるように努めていきたい」と話していました

上町区で認知症の声かけ見守り訓練

3月20日、上町区で認知症に対する理解を深めるため、声かけ見守り訓練が開かれ、地域住民約30人が参加しました。参加者は、訓練の前に認知症サポーター養成講座を受けて、認知症に対する理解を深めた後、声かけ訓練に取り組んでいました。



いまびゅう 今別府地区で認知症を学ぶ勉強会

3月23日、野尻の今別府地区で認知症への理解を深め、対応方法を学ぶ勉強会が開かれ、地域住民約30人が参加しました。参加者は、認知症の症状などを学んだ後、4人が高齢者や通行人の役となり模擬体験を実施。認知症の人への正しい対応を学びました。





第20回小林市総合畜産共進会 和牛・乳牛82頭、枝肉47頭が出場・出品

4月7日、市総合畜産共進会が小林地域家畜市場で行われました。肉用種種牛の部4部門に64頭、乳用種種牛の部4部門に18頭が出場し、肉用種種牛の部は育成2類の二木伸之さん、乳用種種牛の部は経産牛4類の永田一成さんがグランドチャンピオンを獲得。4月2日に行われた肉牛枝肉の部では、47頭の出品の中から株式会社竹之内畜産がグランドチャンピオンを獲得しました。

Photo1 肉用種種牛の部グランドチャンピオン二木伸之さん
2 乳用種種牛の部の各部門で優等1席を獲得した受賞者ら
3 肉牛枝肉の部グランドチャンピオン株式会社竹之内畜産

結果(順位順・敬称略)

■肉用種種牛の部

▼育成1類＝脇屋敷誠、脇屋敷まさ子、(株)森田牧場 ▼育成2類＝二木伸之、寛春彦、(株)濱崎畜産 ▼雌子牛＝鬼塚稔、中津清次、立山健二、吉留久美、御池繁殖センター

▼高等登録群(2頭セット)＝たけやまあきのり、はまさきちくさん、竹山昭徳、(株)濱崎畜産、天里幸弘・天里哲平

■乳用種の部

▼育成1類＝中村大輝 ▼育成2類＝永田一成 ▼経産牛3類＝高佐政昭 ▼経産牛4類＝永田一成

■肉牛枝肉の部

(株)竹之内畜産、(有)深水牧場、(株)西ノ原牧場、坂下牧場、山下孝二、元澤雄治(脂質賞)

特定技能の張 楼さんが国家資格の 介護福祉士試験に合格

4月15日、有限会社ウエハラに所属する特定技能の張楼さん(中国出身)が国家資格の介護福祉士試験に合格したことを報告しました。同社では2018年から技能実習生を受け入れ、現在18人が働いていますが、同試験の合格は初めて。定期的に行っている日本語学習の支援や介護職研修などが実を結び、今回の合格につながりました。



2018年の来日時には日本語を全く話すことができなかったという張さんですが、今では施設の利用者が話す西語弁も理解できるようになったと話します

出の山公園に飾る色とりどりの オリジナルこいのぼり作り

4月13日、KITTO 小林交流スペースで小林まちづくり株式会社主催のオリジナルこいのぼり作りが開かれ、約30人が参加しました。参加者は、それぞれ2匹作り、1匹は4月14日から出の山公園に飾られます。最後に、2メートルのこいのぼりをみんなで制作。うろこ1枚ずつを色とりどりに塗り、楽しみながら取り組んでいました。



入佐明彩美さん(西小林小3年)は、「色んな色で自分の好きな模様を作る事ができて楽しかった。出の山公園に見に行きたい」と話していました

北西三区が地域の安心・安全活動 推進モデル地区に指定

4月4日、北西三区(木佐貫幸男区長)が「地域の安心・安全活動推進モデル地区」に指定されました。令和9年3月31日までの2年間で認定期間とし、地域一丸となって防犯や事故防止を推進。同区では、普段から子どもや高齢者の見守り活動などを進めており、今後も安心・安全な地域づくりを目指します。



木佐貫区長は「モデル地区として、北西三区から西小林、そして市内全体に活動を広げ、安心・安全な地域づくりを目指したい」と話していました

自分たちの手でこの地域を守る 小林市消防団入退団式を開催

4月6日、須木総合ふるさとセンターで令和7年度小林市消防団入退団式が挙行されました。今年は26人が退団し、新たに14人が入団。式では、入団者を代表して第1分団第4部(小林中央)中村斗哉さんは「住民の生命、身体および財産を保護し、郷土愛護の精神に基づき使命達成に努めます」と力強く宣誓しました。



地域の消防防災のリーダーとして市民の安全安心を守るという重要な役割を担う消防団、今年度は485人の消防団員がさまざまな活動に取り組みます

小林中の1年生6人のチームが 硬式テニスの九州大会出場を報告

3月25日、小林中学生徒6人でつくる硬式テニスチームが、佐賀県で開催される第23回九州中学生新人テニス大会への出場を市長に報告しました。普段から外部団体で腕を磨き、高校生とも練習する6人。12月22日に開催された県大会では、1年生のみのチームながら多くの強豪校を抑え3位に入賞し、九州大会の出場権を獲得しました。



主将を務める中村心咲さん(現小林中2年)は「チーム全員で力を合わせていい結果を残せるようにがんばりたい」と意気込みを話していました

人権擁護委員が委嘱されました

人権擁護委員として、佐藤宗一さんが法務大臣から委嘱されました。任期は令和9年12月31日までです。現在、市内には10人の人権擁護委員がいます。毎月「人権・行政・なやみごと相談」を開催していますのでお気軽にご相談ください。(相談日は25日に記載)



行政相談委員が委嘱されました

行政相談委員として、谷山宏志さんが総務大臣から委嘱されました。任期は令和9年3月31日まで、担当地区は小林です。行政相談委員は、住民と行政のパイプ役として、役所の仕事や行政サービス、手続きなどに関する相談を受け付けています。(相談日は25日に記載)

